

開館時間：10時～18時
（中央館は火～金：20時）
休館日：毎週月曜日、
年末年始、その他臨時休館
（分館は国民の祝日・休日）

としょかんだより

（中央館）TEL 22-3225 FAX 22-7118
（夜久野分館）TEL・FAX 37-1066

（三和分館）TEL 58-4715 FAX 58-4716
（大江分館）TEL・FAX 56-1017

知ることは

仲良くなるための第一歩



あたらしいがっこうやクラスには慣れてきましたか？初めてあう人の顔や名前を覚えたり、だんだん知っていくことで友だちが増えていくことと思います。

図書館の本の中にも、まだ見たことのない人がみなさんとの出会いを待っています。遠い外国や遠い昔のこと、物語の中の人物のことも知ることができます。

としょかんりようけん じぶんの「図書館利用券」 も を持っていますか？



としょかんりようけん
図書館利用券で、10冊まで2週間、本を貸出できます。

としょかんりようけん つく 図書館利用券を作るには

じゅうしょ なまえ せいねんがっぴ ほけんしょう がくせいしょう も ちか としょかん もう こ
住所・名前・生年月日のわかる保険証か学生証を持って近くの図書館で申し込んでください。

しょうがくせい おとな かぞく かた いっしょ き
小学生は大人の家族の方と一緒に来てください。

ふくちやまし す ひと ふくちやまし がっこう かよ ひと でんし
福知山市に住んでいる人、福知山市にある学校に通っている人は、パスワードをつくと電子
としょかん つか
図書館も使えます。



こんかい
今回のテーマ

『世界のくらし と文化』

4月から開催されている「大阪・関西
万博」には約150もの国・地域が参加。
万博にちなんで世界の国を知るのにオス
メの本を紹介します。

『ライラックどおりのおひるごはん』



(フェリシタ・サラ／作, B L出版)

ライラック通り10番地を通ると、いい匂いがしてくる。誰が何を
つくっているのかな？

中国、イタリア、日本など、いろいろな料理のレシピを紹介します。
あなたは、どれが食べてみたい？

『人と出会う場所 世界の市場』

(小松 義夫／写真・文, アリス館)



市場は、人の
生活があらわれ、
文化が育ってい
くところ。

花、野菜、動物や

日用品、生活に必要ないろいろなものが売
り買いされ、人々の出会いも生まれます。

違う文化や生活の様子、世界の市場を、
写真で紹介しています。

『みんなが知りたい！世界遺産』

(「みんなが知りたい！世界遺産」編集室／著、
メイツユニバーサルコンテンツ)

万里の長城、ピラ
ミッド、モンサンミッ
シェル… 世界にたく
さんある中でも、一度
は訪れてみたい世界



遺産を紹介します。カラー写真や見ど
ころのコラムなど、わかりやすい解説で、
世界遺産への理解が深まる一冊です。

児童おすすめの本



『まねをしました』



(すず きみえ／作, 文研出版)

図工の時間、遠足で行った水族館の絵をかくことになったゆうま。何をかくか決められず、ハルト君がかいていたサメの絵をまねしてしまった。でもクラスのみんなは、ハルト君がまねをしたとかんちがい。まねをするのは悪いこと？ 良いまねってあるのかな？

『ペット探偵事件ノート 消えたまいごねこをさがせ』



(赤羽 じゅんこ／作, 講談社)

幼なじみの弥生に「いなくなったねこを探してほしい」と頼まれた宙。ペット探偵をしている親せきの源おじさんによると、迷いねこ探しに必要な七つ道具というものがあるらしい。手がかりを集めながらコツコツ搜索するけれど…

『キケンな修学旅行』



(ジェニファー・キリック／作, ほるぷ出版)

小6の修学旅行でクレーター湖にやってきたランス。だが、楽しいはずの旅は何だか様子がおかしい。クレーター湖に住む謎の生命体が襲ってきたのだ。「絶対眠るな！」を合言葉に、仲間と知恵を出し合い逃げる。はたして無事に帰れるのか？

『江戸を照らせ 蔦屋重三郎の挑戦』



(小前 亮／作, 小峰書店)

江戸時代、美人画で有名になった喜多川歌麿、謎の絵師といわれた東洲斎写楽を知っていますか？ 当時、無名だった彼らの名をこれほど世に広めたのは、本屋・出版社を経営していた蔦谷重三郎だったといわれています。江戸の名プロデューサーだった彼は、いったい何をしたのでしょか？

ティーンズ^{ほん}おすすめの本



『もやもや、ごちゃごちゃがスッキリする手書きノート＆メモ術』



おくの のぶゆき ちょ かわでしよほう しんしゃ
(奥野 宣之／著, 河出書房新社)

スマホやタブレットが当たり前の時代。授業や課題でメモやノートに親しんでいる学生世代へ「手書き」の効力を解説する。頭の中を整理し気持ちを落ち着け、課題に向かい、一歩前に進むためのメモとノートのわかりやすい作り方と使い方を説明する。

『あたたかな手^て なのはな^{せいこつじんものがたり}整骨院物語』



はまの きょうこ ちょ かいせいしゃ
(濱野 京子／著, 偕成社)

「ちょっと寄り道」のあと柔道整復師になった春哉には人に触れることができなかった過去がある。そんな春哉が整骨院で出会うのは何かしらの問題を抱えた人たち。患者や子どもたちに手を当て、寄り添いながら自分自身を癒し、居場所を見つけていく物語。

『なんで人は青を作ったの？^{ひと あお つく} 青色の歴史を探る旅』



たにぐち ようこ たかはし かおり ちょ しんせんしゃ
(谷口 陽子, 高橋 香里／著, 新泉社)

空や水の色として身近な色、青。しかし、絵の具になる青は自然界にほとんど存在しない。中学1年生の蒼太郎と律は銅やお酢、牛の血を使って、青をつくる実験に挑戦する。ふたりは人々が青を追い求めた歴史を知り、探求する楽しさにはまっていく。

『やなやつ改造計画』



よしの まりこ ちょ しよほう
(吉野 万理子／著, あすなろ書房)

市議会議員の伯父の影響で、生徒会長に立候補することを決意した光也。だが、友人に言わせると、光也は『やなやつ偏差値60』だそうだ。選挙に勝つため、リーダーになる研究を始めるが、思いがけないことが次々と起こり…
爽やかな成長ストーリー。